
五感に残る

嘩月ーka「d/z」ukiー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

五感に残る

【Nコード】

N4459J

【作者名】

嘩月ーk a「d／z」u k iー

【あらすじ】

ー
ー
ー
ー
ー
ー
ー

追い掛けても指の先にも触れる事無く 暗幕の中の笑顔のアナタに
泣く

この遥かなる記憶 泳ぐ中でするりと抜けるアナタ
こんなに感じてるのに変わってしまった変わらないアナタがいる

残る 鮮明なだけのアナタ

眠っていたベッドの上で 想うあの頃
いつまでも いつまでも 何故残る

「愛す事に罪は無いと信じていた」

アナタの姿 四季に塗れ彩られるから痛い

「愛が罰へ変わった世界でただ無力で」

除かれた愛の方向に祈りを捧げた

散乱した部屋で乱雑な髪で軋む体で何をすればいい
何処にもいない でも感じてるから辛くて 吐く様に偽りの記憶埋
め込み笑う

醒めない 冷めない 褪めない アナタ
無理矢理埋め込んだ記憶は あまりにも簡単に抜け落ちてゆくとい
うのに

何故 どうして 繰り返す言葉さえも疑問に思えて

何が何カ解ラナイ

壊れていた請い続けた 願うあの頃
絡み付く 粘り着く あの残り

「夢の中の姿さえも罪が溢れる」

狂おしい 死期に塗れ彩られる花の中

「綺麗に直された芸術的な君がいる」

壊れきったアナタが無の日々の中美しく

壊れてく姿を眺めて優しく微笑んでいる

「残る」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4459j/>

五感に残る

2010年10月16日22時51分発行